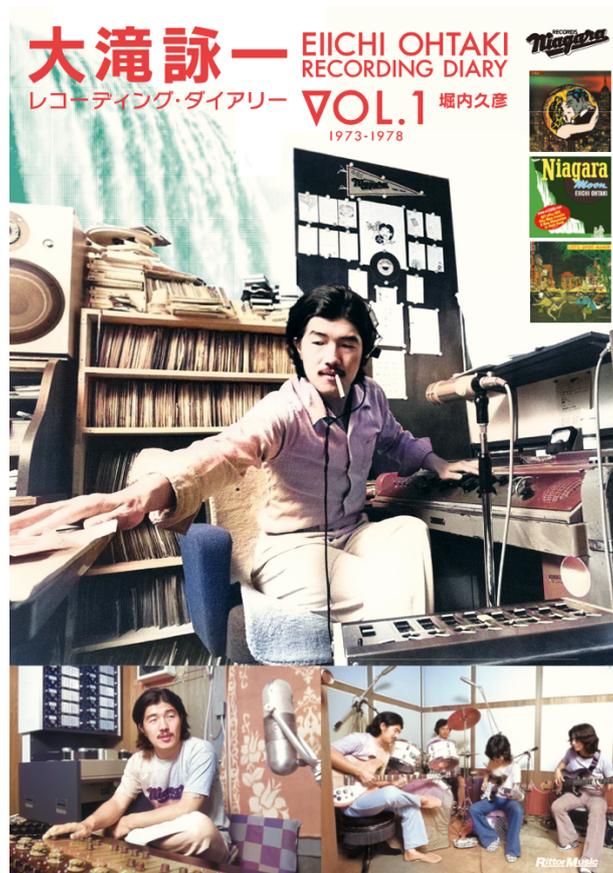


各 位

2023年2月8日  
株式会社リットーミュージック

大滝詠一のエンジニアとしての足跡を日記形式で追う書籍の第2弾！  
今回はキャリアでもっとも多作だった福生45スタジオ時代にフォーカス



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『大滝詠一レコーディング・ダイアリー Vol.1』を、2023年3月20日に発売します。

本書は大滝詠一のエンジニアとしての側面を日記形式で追うという画期的な試みが話題を呼んだ2022年3月刊行の書籍『大滝詠一レコーディング・ダイアリー Vol.2』の続編で、前作が1979～1982年に焦点を当てたのに対し、今回は〈はっぴいえんど〉解散後、当時は珍しかった個人スタジオ＝福生45スタジオを立ち上げ、エンジニア業まで1人でこなしながらキャリアのなかでも多くの作品を生み出した1973～1978年にフォーカスします（時代をさかのぼるため、シリーズ第2弾でありながら書名は「Vol.1」となります）。

数々の名作・名演誕生の背景はもちろん、福生45スタジオの成り立ちから作品ごとの録音手法の変遷まで、膨大な証言と資料の集積により、現在も多くのファンを魅了してやまないナイアガラ・サウンドの秘密を明らかにしていきます。

## ■書誌情報

書名：大滝詠一レコーディング・ダイアリー Vol.1

著者：堀内久彦

仕様：A5判／440ページ（予定）

定価：3,300円（本体3,000円＋税10%）

発売：2023年3月20日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3122317110/>

## 【証言者】

大滝詠一、湯浅学、矢崎芳博、時枝一博、関口直人、駒沢裕城、鈴木慶一、牧村憲一、村松邦男、上田“メリー”雅人、光永巖、六川正彦、山下有次、齊藤文昭、坂本龍一、ほか

## PROFILE

堀内久彦

音楽家／テクニカル・ライター。楽曲制作からマスタリングまでさまざまな音楽制作現場に携わりつつ、それらで得た実践的な知識をもとにレコーディング専門誌『サウンド＆レコーディング・マガジン』などで執筆活動も行う。

<主な寄稿> 『バハマ・ベルリン・パリ～加藤和彦 ヨーロッパ3部作』（2014年）、大滝詠一『A LONG VACATION VOX』（2021年）における「大滝詠一『A LONG VACATION』を語る4万字インタビュー」および「各曲トラック・アナライズ」など。

## 【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド＆レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー＆クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、Tシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWebサービスも人気です。

## 【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

## 【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: [pr@rittor-music.co.jp](mailto:pr@rittor-music.co.jp)